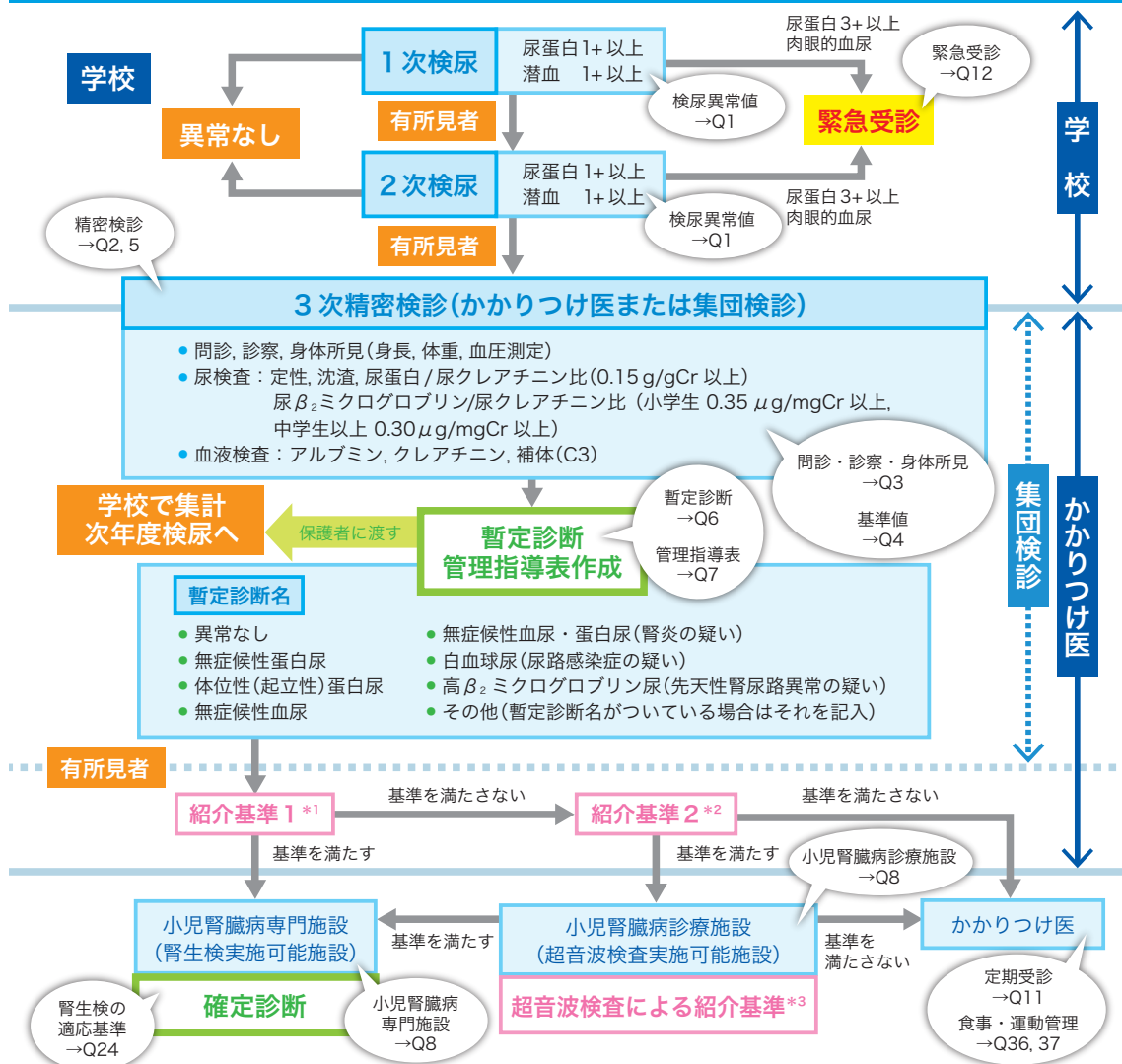


学校検尿(腎臓)フローチャート



紹介基準 (Q9,10,34 参照)

*1 紹介基準 1

1. 早朝第一尿の尿蛋白/クレアチニン比(g/gCr) [または蛋白定性]が
0.15~0.4の場合は6~12か月程度(1+程度)
0.5~0.9の場合は3~6か月程度(2+程度)
1.0~1.9の場合は1~3か月程度(3+程度)
が持続する場合(尿蛋白/クレアチニン比を優先して判定)
上記を満たさない場合でも、下記2~6の所見がある場合は
早期に**小児腎臓病専門施設**に紹介する
2. 肉眼的血尿(遠心後肉眼的血尿を含む)
3. 低アルブミン血症(< 3.0 g/dL)
4. 低補体血症(C3 < 73 mg/dL)
5. 高血圧(Q31 参照)
6. 腎機能障害(Q29 参照)

*2 紹介基準 2

1. 白血球尿 50個/HPF以上が2回以上連続
2. 赤血球尿 50個/HPF以上が2回以上連続
3. 尿 β_2 ミクログロブリン/尿クレアチニン比が
小学生 0.35 μ g/mgCr 以上・中学生以上 0.30 μ g/mgCr 以上

*3 超音波検査による紹介基準(SFU分類はQ34参照)

1. SFU分類3度以上の水腎症
2. どちらか一方の腎臓の長径が<-2SD以下、左右差1cm以上
3. 腎実質輝度の上昇
4. 結石を疑わせる輝度の上昇と音響陰影
5. 腎臓・尿管の異常(1側腎欠損、嚢胞、腫瘍、上部尿管拡張など)
6. 中等度以上の尿充満時、膀胱壁肥厚や不整、膀胱後面の下部尿管拡張